

※ 今週のアウトルック (2/6~2/10)

先週の金曜日に発表された米国雇用統計は、雇用者数は予想より増加したものの、平均賃金の伸びは鈍化しました。

この結果を受けて、3月利上げの可能性が低くなったという見方が増え、ドル売りが幾分進む形となり、そのままNY市場を終了しています。

今週は、この雇用統計の結果を受けて、もう一段のドル売りが進むのか、それとも買い戻しからのリバウンドで、再び上昇トレンドを目指そうとするのか、週初めの動きに注目したいところです。

先週のドル円は、狭いレンジでの動きとなり、米国雇用統計発表後はドル売り傾向がやや色濃くなっています。

今週は、このところのサポートラインとなっている112円付近を死守できるかどうか、まずはポイントとなりそうですが、市場全体のセンチメントとしてはいささかリスクオフ的なムードが幾分強く、112円を割ってしまう可能性がやや強うように思います。

ドル円の予想レンジは110円から116円です。

ユーロ円は先週、121円から122円付近の狭いレンジ内での取引となっています。今週あたりどちらかへ大きく動く可能性が高まりそうですが、リスクオンムードがそろそろ終息する可能性もあり、120円割れを目指す展開となる可能性も考慮する必要があるように思います。

ユーロ円の予想レンジは119円から124円です。

ポンド円もは今週、140円を割ってしまうか否かがポイントとなりそうです。割ってしまった場合は、再び135円付近を目指す動きとなりそうです。

ポンド円の予想レンジは135円から145円です。

今週はトランプ大統領の発言から、やや警戒ムードが強くなり、トランプ相場のいったん終息を迎える可能性もやや高まっているようにも思います。

トランプ大統領の強硬発言による、相場の急激な動きには注意する必要があるようです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。